

武蔵村山市選挙管理委員会事務局による「選挙」出前授業

2年次必修科目「公共」の時間に、武蔵村山市選挙管理委員会事務局の職員の方による出前授業を3日間にわけて、2年次の6クラスで実施しました。

今年度は、3年次必修科目「現代社会」5クラスでも6月に実施していただきました。

選挙の意義と課題について講義していただいたあと、架空の市長選挙の候補者演説動画を視聴して、模擬投票をおこないました。

実際の選挙で使用している記載台や投票箱、機械類なども準備していただきました。

1人1枚の投票用紙を手にして「折っても開きやすい」「破れにくい」素材の工夫も知ることができました。

授業後の生徒の感想です。

「今までは選挙についてあまり興味がなく、考えたことがなかったけれど、とても大切なことだと感じた」
「選挙に対してあまりいいイメージがなく、投票してもそれはたったの一票だから意味がないのではないかと思っていた。しかし、今回の授業を受けて、たったの一票でも自分の思いを投票することに意味があるのだと知った」

「模擬投票では、候補者の3人のうち1人を選ぶのが大変だった」

「だれが一番現実的で計画性のある人かを考えて投票した」

「投票率が低いと何が起こるかなど、選挙の重要性についても知ることができた」

「選挙公約などをしっかり読んで、投票できる権利を無駄にしないようにしたい」

18歳になる来年度に向けて、選挙や国政、地方自治について考える機会となりました。

